秋田県障害者スポーツ指導者協議会

広報 チャレンジ!

平成27年3月30日発行
秋田県障害者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県障害者スポーツ協会内）
TEL　018-864-2750
FAX　018-874-9467
E-mail：shidousha@akita-sports.jp

ごあいさつ

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 会長　米山　隆

春陽の候、会員並びに関係者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また本協議会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会では今年度も会員が活動する現場で不安なく、自信を持って指導及びサポートが出来るよう、実技研修会を開催いたしました。参加者は前年度より多く、それぞれスキルアップを目指している事に誇らしく思います。

また、今年度より障がい者スポーツの一部領域が厚生労働省から文部科学省へと移管され、障害の有無を問わず、スポーツの一体的推進が図られるようになりました。スポーツ基本法の改正、２０２０年オリンピック、パラリンピックの開催決定などにより、障がい者スポーツに関わるスポーツ指導員の環境や社会情勢は著しく変化してきております。私達もこのような状況の変化に対応出来るような環境作りとして、障がい者スポーツ競技団体、地域の関係団体との連携を図ることが、より必要になると思います。

（公財）日本障害者スポーツ協会主催による、第１０回「障がい者スポーツ指導者全国研修会」は平成２６年１１月２２日（土）・２３日（日）の両日、全国から１７１名の参加者が福島県・会津大学に集いました（秋田県１５名参加）東北ブロックでは本研修会開催に当たり実行委員会を立ち上げ、スポーツ協会や研修部会、各関係者皆様からのご指導とご協力を頂きながら、運営に関わり主管としての役割を果たすことが出来ました

新年度も指導員の交流を図り、資質向上と障がい者スポーツの普及・発展に寄与することを目的とし講習会を計画したいと思っておりますので積極的に参加し、活動の場を拡げてくださることを期待しております。

最後になりますが、新年度も秋田県障害者スポーツ協会や関係者皆様のご指導とご協力を得ながら事業の運営に携わっていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

研修コーナー

スキルアップを目指し研修会を開催致しました。

平成26年度　第1回 実技研修会

日　時　平成２６年５月１０日（土）
会　場　秋田県心身障害者総合福祉センター　体育館
講　師　高橋　次男　氏（秋田市スポーツ推進員）
内　用　フロアカーリング（ルールと実技について）
参加者　３２名

２６年度第１回研修会はフロアカーリングを実施しました。

フロアカーリングは冬季オリンピック競技にも採用されている氷上で行うカーリングを基に平成５年木材の町、北海道新得町で開発された競技です。季節や天候に左右されない室内競技で、平坦な場所であれば誰でも手軽にプレーできます。秋田市スポーツ推進員、高橋講師から用具の扱いや投球方法、ルール等についてご指導を頂きました。木製のターゲットを的にキャスター付きの木製のフロッカーを送球し得点を競うものでルールも簡単でした。総合型地域スポーツクラブでも楽しめるスポーツだと思いました。現在、県内や県外でも幅広く愛好者が増え楽しんでいるとのことです。

平成26年度　第2回 実技研修会

日　時　平成２６年１２月１３日（土）
会　場　秋田県勤労身体障害者スポーツセンター　体育館
内　容　講義「身体障害者の特性と支援法について」
　　講師　佐藤　茂仁氏（秋田ワークセンター所長）
　　実技「フライングディスク」審判法と競技について
　　講師　橋本　高史氏（秋田県障害者フライングディスク協会会長）
　　髙野　　均氏（秋田県障害者フライングディスク協会副会長）

初めに佐藤講師から「身体障害者の特性と支援法について」をテーマに視覚障害者や聴覚障害、肢体不自由及び内部障害の特性について説明を受け、支援法についてはそれぞれの、介助方法や、介助エチケット、車いすを使った具体的な介助について講義されました。

実技は橋本講師、髙野講師の両氏からフライングディスクについて、指導方法や審判法等について説明を受け、競技や審判を体験しました。

平成２７年度東北ブロック障害者フライングディスク大会が秋田県を会場に開催されますが、競技役員が不足しております。この実技研修会に参加されました会員の皆様のご協力を希望されております。

「障がい者いきいきスポーツ教室」に参加して

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　会員　　工　藤　清　一（北秋田市）

１０月１４日、色づき始めた木々を横目に不安を抱えながえら２８５号線を、大館市比内体育館をめざして車を走らせていました。

平成２６年度初級障害者スポーツ指導員養成講習会を受講し、初級の指導員資格を取得する事が出来、その第一歩として、スポーツクラブひないが主催する「障がい者いきいきスポーツ教室」に外部スタッフとして協力依頼を頂き、何かお手伝いする事が有れば、そして自分の勉強になればと思いお受けし、私の外部スタッフとしての活動が始まりました。

スポーツ教室の種目は、卓球バレーとフライングディスクを基本として毎回行いました。第３の種目としてボッチャや、ふうせんバレーも行いました。スポーツ推進委員として、種々ニュースポーツは経験したつもりでしたが、どれがどういうものか、ただ経験したに過ぎなかったのです。改めてルール等を勉強し参加者と一緒になって説明を聞き、一緒になって楽しみました。いつの間にか私の不安も消え、スムーズに入っていけたのは、主催するクラブ会員の皆様、上級指導員の黒澤さん、事務局長の佐藤さんそのほか、指導者協議会のみなさんが親切に指導して下さったからだと思います。

今回の参加者は高齢者で軽い障害をもっている方々でしたが、全員楽しく競技している姿を見て自分も楽しくなり、全６回の教室で回を重ねる事に全参加者と様々な会話が出来るようになっていました。

スポーツを通して様々な人と会話が出来るし、スポーツを通して障がい者と健常者の線引きも無くして行く、そして「自分が楽しくなければ皆が楽しくない」をモットーにこれからも積極的に協力していきたいと思っております。

ビーンボウリングに挑戦

フライングディスク

「第１０回　障がい者スポーツ指導者全国研修会」に参加して

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　会員　　遠　田　ゆみこ（湯沢市）

平成２６年１１月２２日(土)・２３日(日)の両日障がい者スポーツ指導者全国研修会が福島県の会津大学を会場に開催されました。『東北発！日常的な運動プログラム作り』を全体のテーマに掲げ、障がい者スポーツ指導者が研修において様々な情報を得る事により、地域での活動や指導に伴う不安の解消、今後の活動に対する意欲向上、指導者としての資質向上を目的とした開催でした。

２２日１３時から「地域における日常的なスポーツ活動の場づくりと人材育成」をテーマにシンポジウムが行われました。３人のシンポジストがそれぞれ活動内容や、苦労された体験談、現状やこれからの課題など講演して下さいました。１４時３０分からは各分科会に分かれての研修となり、私は第１分科会に参加し「知的、発達障がい者のスポーツ～効果的な指導と支援の方法」をテーマに、知的障がい者や発達障がいのある人たちがスポーツをする意義と効果、また指導上の留意点について学び、スポーツの楽しさが実感出来るような分かりやすい指導法について考える内容でした。実技では障がいのある人を招き活動するという事で、各グループで受け持った用具を基に活動の目的と役割分担、プログラムの作成を行いました。

夜は交流会が開かれそれぞれに名刺交換をしながら、お互いの連携が深まり、地域を超えた指導の輪が広げられるのだと感じました。

講習や実技で知識を学び、交流会では大切な輪が生まれ、各地で所属する指導者が積極的に参加することが有意義だと感じました。

一人ひとりの個性を尊重し、障がいを持つ一人でも多くの人が気軽にスポーツ通して社会参加が出来るよう、お手伝い出来たらと思いました。

グループで考えたプログラムで障がい当事者と体験しました

第３８回ハンディスキー全国親善大会を終えて

秋田県障害者スキー協会　会長　　進　藤　雄　一（秋田市）

第３８回ハンディスキー全国親善大会が、平成２７年１月２３日(金)～２４日(土)仙北市たざわ湖スキー場に於いて開催されました。２３日は時折強めの降雪があったりいたしましたが、２４日はまさにレース日和、雪質も良く時折微風が吹く程度参加頂いた選手の皆様には、たざわ湖スキー場の雪質の良さを十分に楽しんで頂けたことと思います。

親善大会は、障がい者の方だけでなく一般の方も参加できるゲストメーションのクラスもありスキーを通じて障がい者の方々と一般の方々の交流を深める事も目的の一つです、レースは早ければ勝つという事ではなく同一旗門で２回滑り１本目と２本目のタイム差の少ない選手が勝というレースです。

参加頂いた全国の障がい者スキーヤーの皆様も当地、秋田に来ることをとても楽しみにしているようです。

すでに全国の多くの選手たちとも顔なじみとなっております障がい者スポーツ指導者協議会の皆様よりのご協力、ご支援を頂、心より御礼申し上げます。

平成１９年以降たざわ湖スキー場に於いては全国大会３回、親善大会２回とほぼ１年おきに大きな大会を開催いたしておりました　その都度沢山のご協力、ご支援を頂きましたことに、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私ども障がい者にとっては、スポーツを行う場合自分達だけではどうしてもできない部分があり、そんな時指導者協議会の皆様のご協力は本当に力強くありがたいものです。

スポーツは行うことで今まで以上に自分の体の動きが良くなったり力強くなったり新しい発見があったりと日常生活を、送るうえで非常に役立つことが多くあります。

一人でも多くの障がい者の方々へ、スポーツの素晴らしさ、楽しさを実感頂けるように益々障がい者のスポーツ活動への暖かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会に参加して

秋田県障害者スポーツ指導者協議会　会員　　伊　藤　四　郎（北秋田市）

３月１日（日）岩手県盛岡市のふれあいランド岩手を会場に、東北ブロック障害者スポーツ指導者研修会が開催されました。

始めに講師の堀川先生からはユニバーサルスポーツのキーワードは障がい者と健常者が一緒になって楽しめること。それに３種目のスポーツの指導が可能であれば、様々な場面で活用可能で参加者も種目を選択することが出来る。

また郷家先生からは、障がい者スポーツの一部領域が厚労省から文科省へ移管され、２０１１年のスポーツ基本法の施行と併せ、国の障がいのある方々のスポーツ活動支援の方向性に大きな関心が集まっている。さらに地域に目を向けると『変化』の感じ方に大きな隔たりがあるように思う。

これまで活動に携わってきた障がい者スポーツ指導員・スポーツ推進委員を始めスポーツ指導者関係者がどのように連携していくべきか「地域における障がい者スポーツ・レクリェーション活動に関する調査研究」の結果も紹介してを頂き、具体的な展望に期待される。

安全で楽しめる運動指導の実践

お知らせ

功労賞受賞

当協議会の会員・三好雅夫氏が長きにわたり障がい者スポーツの発展に多大な貢献をされ、平成２６年５月２９日、秋田県障害者スポーツ協会菅原三朗会長から表彰されました。誠におめでとうございました。

競技大会の開催

第15回 全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技（精神障害の部） 北海道・東北ブロック予選会

主 催：一般社団法人
秋田県障害者スポーツ協会

期 日：平成27年５月23日（土）

会 場：秋田市立体育館
秋田市八橋本町６−12−20

●この大会は第１５回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）に出場する北海道・東北ブロックの代表チームを決定する大会となっております。当日、大会の競技運営に協力として１０名の派遣依頼。

サウンドテーブルテニス こまち大会（全国大会）

主 催：秋田県サウンドテーブルテニスクラブ

期 日：平成27年10月10日（土）
～11日（日）

会 場：秋田県心身障害者総合福祉センター
（秋田県社会福祉会館併設）
秋田市旭北栄町１－５　TEL 018-864-2700

●参加選手の支援及び大会の協力として１０名の派遣依頼

両大会にご協力可能な方は、**事務局担当　佐藤**までご連絡下さい。

電話・ＦＡＸ　018−826−1860
携帯　090−4040−6337

秋田県障害者スポーツ指導者協議会役員　平成26年度・27年度

会　　長	米山　　隆				
副 会 長	小森　一昭	佐藤　茂仁	髙野　　均		
事務局長	佐藤　凉子				
理　　事	船木　　敬（秋田県障害者スポーツ協会事務局長）				
	松永　武夫	豊嶋　卯一	小笠原　行	阿部勢津子	阿部　祐子
	谷内　祐子	半田　武好	黒澤　英章	橋本　高史	高橋　次男
監　　事	進藤　雄一	及川　まゆみ			

会費納入のお願い（平成２７年度年会費1,０００円）

総会の案内とともに振り込み用紙を送付し、納入をお願いしておりますが紛失された方は郵便局に備え付けの用紙でも納入できます。

納入先

秋田県障害者スポーツ指導者協議会秋田中央郵便局
口座記号　　口座番号
０２２１０－７－９４３９０

編集後記

この度の発刊に際しご協力頂きました方々に心から感謝申し上げます。新年度も皆様と一緒に障がい者スポーツの普及・発展に努めたいと思っております。今後共ご支援、ご協力をお願いします。諸事情により発刊が遅れました事お詫び申し上げます。（佐藤　凉子）